

令和6年度 学校経営計画報告

1 学習指導要領に基づく授業力の向上

- (1) 人権を尊重した適切な指導の徹底
- (2) 人材を活かした教育活動の充実

6年度評価：

人権尊重教育：各学部で人権を尊重した指導を図るため、人権チェックシートを定期的実施しており、大きな問題はなかった。今後も意識づけや人権チェックシートを定期的実施し、課題が発生した際には報告・連絡・相談を徹底して、早急に対応策を立てて対応していく。

ICT 機器を活用した指導の充実：外部専門員や教育庁事業を活用した ICT 活用教育推進と全教職員の ICT 活用能力向上について、教職員の肯定的評価は92%であり、80%以上を達成することができた。東京都教育庁指導部特別支援教育指導課研究指定事業による3つの指定事業は、最終年次で3つの指定事業は終了した。デジタル共同学習とデジタル教科書については、引き続き研究指定校として参加する。生成 AI については、研修だけでなく、ロボットをレンタルし校内で触れ合うことができる場所に設置し、児童・生徒や保護者、地域の方々にも興味をもってもらい、幅広く情報発信できた。レンタルしたロボットを活用して 2025 大阪万博に出展予定。

項目		今年度の取組目標、方策 等	対象、期間	主たる責任者
学習指導	1	人権を尊重した適切な指導の徹底、児童・生徒へ適切な言語環境を提供する指導の徹底：保護者苦情ゼロ	全教職員 通年	管理職 教務主任、 各学部主任 管轄
	2	重点目標：外部専門員や教育庁事業を活用した ICT 活用教育推進と全教職員の ICT 活用能力向上： 教職員肯定的評価80%以上 教育庁指導部特支課事業：デジタル教科書活用指導の充実（最終年次） 他校との共同遠隔指導の充実 大学連携デジタルアートの充実 教育庁総務部デジタル推進課事業：令和6年度生成AI研究校指定 研究会等ポスター発表等による共有	全教員、通年	教務主任、 研究部主任、 情報主任、 各学部主任 管轄

2 児童・生徒一人一人のニーズに応じたキャリア教育の充実

- (1) 全体計画に基づいた系統性のあるキャリア教育の推進
- (2) 保護者及び関係機関と学校の連携を強化・充実し、児童・生徒の進路指導を充実

6年度評価：一貫したキャリア教育の保護者の肯定的な学校評価は83%で昨年度より低下した。

(昨年度は87%) 進路に関する情報提供も保護者の肯定的な学校評価は87%で昨年度よりも低下している。(昨年度は89%) キャリア教育の手引きや進路だよりを発信しているが定着していないことと、進路に関する説明会や卒業生やその保護者からの情報提供を受ける機会を設けられていないことが原因であると分析できる。キャリア教育の手引きについては全校保護者会等を活用して口頭での周知を実施し、進路だよりについても情報を発信しているので御一読いただけるようご案内する。また、進路講演会や卒業生のお話会等を児童・生徒だけでなく保護者にも参加できるように実施して改善を図る。

項目		今年度の取組目標、方策、数値目標	対象、期間	主たる責任者
キャリア教育	1	キャリア教育の手引きや進路便りを活用した教員、保護者指導の充実	1、2学期中 肯定的評価 80%以上	進路指導主任 各学部主任
	2	卒業生・卒業生保護者、区行政等と連携した進路説明会や進路懇談会等の実施	1、2学期中 肯定的評価 80%以上	進路指導主任 高進路専任 各学部主任

3 健康・安全な教育活動の推進

- (1) 教育活動全般を通じた防災教育や地震災害に備えた実践的な危機回避教育を推進
- (2) 教員や学校介護職員と医師、看護師等が連携し、健康観察、医療的ケアを安全に実施

6年度評価：

安全指導：備蓄品等を活用した教職員訓練を2回実施し、駆け付け訓練を1月に実施した。また、毎月1回の避難訓練では、全校での2次避難の実施回数を増やし、体育館や玄関前、六郷工科高校への避難を実施した。

スクールバス連絡会を密に行い、情報共有やスクールバスの運行や停車位置の検証と改善を図った。通学区域3区拡大バスコース表（児童・生徒居住表示）を活用し、1月に登下校発災想定駆け付け訓練を実施した。

健康指導：インフルエンザ等の感染症による欠席も出たが、学級閉鎖や学年閉鎖にはならなかった。

今後も喚起や手洗いなどの徹底を図り、できる限りの予防策を実施する。医療的ケアについては、新1年生の医療的ケアが4月よりスムーズに進められるように調整していく。

特別活動：校外学習、移動教室、修学旅行は全校で無事に終了することができた。次年度以降は実施内容を変更し、より安全に教科横断的な学習となるように計画し実施する。

水泳指導は、実施期間延長により入水できる回数が増え、学校評価でも肯定的な意見が多かった。次年度も今年度と同様の期間で実施していく。コンテストや検定については、中学部・高等部は実用英語技能検定（2回）や漢字検定（3回）を実施。第33回総合文化祭写真部門で銅賞、ミラコン2024～未来を見通すコンテスト～で最優秀賞・第3位・努力賞、第43回肢体不自由児者の美術展で日本肢体不自由児協会賞、第9回 東京都特別支援学校 アートプロジェクト展入選・ポスター掲載作品に選出、第33回総合文化祭書道作品展入選・ポスター掲載作品に選出、第31回全国特別支援学校文化祭写真部門東京代表、第1回ボッチャCIAOカップ第2位等、今年度も検定やコンクールで数々の受賞を得ることができた。

		今年度の取組目標、方策、数値目標	対象、期間等	主たる責任者
安全指導	1	① 防災教育推進委員会、区防災課や地域と連携した実効的避難訓練の充実 ② 備蓄品等を活用した教職員訓練の実施2回以上実施	実施の上、通年、肯定的評価80%	生活指導主任 防災主任 管理職
	2	① SB, 医療的ケア専用車両、登下校時の安全な誘導 ② 学区3区拡大バスコース表（児童・生徒居住表示）を活用した登下校発災想定訓練の実施	実施の上、通年、肯定的評価80%	生活指導主任 バス部主任 管理職
健康指導	1	学校感染症をはじめとする安全衛生対策の徹底	感染症等 学校クラスターゼロ	保健主任 全教職員
	2	医療的ケア実施指針及び各種ガイドラインに基づく安全で適切な実施。新規医療的ケア各モデル事業の安全な実施。	通年、保護者 肯定的評価80%	所掌主幹教諭 各学部主任
特別活動	1	児童・生徒の実態に応じた教科横断的な目標を活かした各種行事の安全な実施と確実な評価	実施後評価による確実な改善	教務主任 各学部主任
	2	各種展示会コンテスト、コンクール、検定等への出展及び受検等機会の増数	年間20件以上	教務主任 各学部主任

4 専門性のある人材を活用した特色ある教育の充実

- (1) 外部専門員の活用による自立活動、個別学習の充実
- (2) オリンピック・パラリンピック教育の成果として学校レガシーを活かしたスポーツ志向、芸術文化に親しむ指導の充実

6年度評価：学習指導要領の自立活動6区分27項目の具体的指導内容例を蓄積し、本校での指導内容について表でまとめ、全教職員に周知し指導力向上を図った。また、自立活動の個別指導計画

を改善し改めて年度内に作成した。

文化庁子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業による3か年計画の公演「星の王子さま」を12月に実施した。外部の参観者は希望した保護者だけであったが、次年度も幅広く参加を募集したい。また、笑顔と学びの体験プロジェクト「アフリカ体験 アフリジャコンサート」を1月に全校で実施した。アスリート等を招集した「オリンピック教室2024」に当選することができずに今年度は実施できなかった。

項目		今年度の取組目標、方策、数値目標	対象、期間等	主たる責任者
特色ある教育活動	1	外部専門員等による個別の指導、自立活動の円滑な調整と情報共有の工夫	通年	所掌主幹教諭 各学部主任
	2	オリンピック・パラリンピック学校レガシー： アスリート等の招聘によるスポーツ志向ほか日本の伝統文化やアートプロジェクト、総合文化祭、文化庁事業等芸術に関する教育の推進	スポーツ、 芸術文化 年2回以上 招聘	教務主任 各学部主任

5 特別支援教育のセンター的機能の充実と地域と連携・協働した取組の推進

(1) 地域の教育委員会、地域の小・中学校や高等学校と連携し、教育相談や交流活動を実施し共生社会の実現

(2) 学校ホームページを活用し、学校教育活動を適時・迅速に発信

6年度評価：南六郷中学校と本校中学部の生徒会交流を11月に実施し、城南祭では作品をお借りして展示した。また、六郷工科高校の文化祭に本校高等部の生徒会が参加した。交流を通してお互いを知るとても良い機会となった。障害者スポーツを活用した地元町会との連携が図れていないため、アスリート体験で連携を図る等、実施方法を工夫する。

就学相談を通して確実な情報共有を行った。今後は、就学前施設訪問を通して連携を深めて情報共有を図る。今後も長期入院している病院や関係機関と連携を密に取りながら就学・転出入の定期的な情報共有を図っていく。

項目		今年度の取組目標、方策、数値目標	対象、期間等	主たる責任者
地域交流等	1	地域小学校へ出前授業（障害理解、多様性の尊重）推進 （区立東六郷小第4学年） 障害者スポーツ等を活用した地元町会との連携推進	出前授業、 地域交流 各1回以上	所掌主幹教諭 各学部主任 コーディネーター
	2	就学前機関や放課後等デイサービス、関連機関との確実な情報共有による円滑な就学と安全な学校生活の強化	対面連絡会 実施 授業参観等 実施	所掌主幹教諭 各学部主任 コーディネーター

6 学校経営と組織体制の強化

(1) 法令等規則を遵守し、個人情報等の適正で組織的な管理を徹底

(2) 組織として業務の効率化を図るとともに、安全で健康的な働きやすい職場環境を整備

6年度評価：

服務事故等：今年度、服務事故はゼロ。12月に全教職員に服務事故防止研修を実施した。服務事故防止研修の際に、個人研修だけでなく集団研修も実施し、他者の意見も取り入れながらより具体的に検討することができた。

ミドルリーダーの育成：主任教諭や主幹教諭を通して、各学部や学年の問題点や改善策を学年会や主幹会などで報告や周知し、具体策を検討していけるように各会議を重要視した。各学部における学年主任会を積極的に活用し、意見集約や課題解決に向けた提案等、主体的に学校運営に携わる意識が向上した。また、主任教諭や主幹教諭を目指しチャレンジする教員を増やしていけるように職務を明確化しコミュニケーションをとっていく。

保護者コミュニケーションシステム等：欠席連絡等の時間帯でも連絡できるようにFormsで連絡できる流れに変更した。また、学校だよりや緊急連絡等は、メール連絡網サービスを活用

して紙での配布をなくしている。学校評価でも肯定的な意見が多いが、もう少し早く情報を発信してほしいという意見もあるので、次年度に向けて発信時期や内容について検討していく。

トイレ工事：令和6年度、玄関側1階と2階の併せて4か所のトイレを工事中。廊下が狭くなっていたが、大きな事故や問題は起きていない。1週間に1回程度業者との打ち合わせ会議を実施し教職員に内容を周知した。引き続き、安全に実施できるように環境整備を実施し情報共有を図る。また、急に具体的なリスクが把握されたときには、施工業者と協議の上、安全対策を実施していく。

項目		今年度の取組目標、方策、数値目標	対象、期間等	主たる責任者
学校運営・組織体制	1	服務事故ゼロ、児童・生徒重大事故ゼロ	事故防止研修年間5回	管理職
	2	ミドルリーダーの育成（指導教員、学年主任分掌主担当等）	通年	主幹教諭主管轄 管理職
	3	保護者コミュニケーションシステムの円滑な導入及び既存システムとの併用の工夫	2学期から運用開始 3学期完成	主幹教諭主管轄 管理職
	4	全校トイレ工事の円滑な実施	通年	管理職及び 主幹教諭管轄